

## 第22回広島県「減らそう犯罪」推進会議の開催結果について

### 1 要旨・目的

第22回広島県「減らそう犯罪」推進会議の開催結果について報告するもの

### 2 現状・背景

本会議は、犯罪の起こりにくいまちづくりを推進するための総合的な取組を実施するため、県、市町、県民、事業者及び関係団体が意見を交換し、相互に協力を図るための推進体制として、「減らそう犯罪」ひろしま安全なまちづくり推進条例に基づき、平成15年に設置され、以降は毎年1回開催している。

「減らそう犯罪」推進会議規約に基づき、県、市町、県民、事業者及び関係団体の代表として選任した委員が、相互に協力し、自由に意見交換することで、犯罪の起こりにくい安全で住みよいまちづくりのための総合的な取組を推進することを本会議の目的としており、県内の犯罪情勢等について協議している。

### 3 概要

#### (1) 対象者

県民

#### (2) 事業内容（実施内容）

##### ア 開催日時・場所

日時：令和5年11月30日（木）午後2時30分から午後3時34分までの間

場所：警察本部17階大会議室

##### イ 出席者

広島県防犯連合会会長（副会長）、警察本部長（副会長）、

警察・商工労働委員会委員長、事業者、学識経験者、防犯ボランティア、大学生等

26名

##### ウ 議題

(ア) 広島県内における犯罪情勢等について

(イ) 各団体における防犯に関する取組について

(ウ) 「減らそう犯罪」第5期ひろしまアクション・プランに基づく令和5年の取組状況及び令和6年の取組方向について

##### エ 各団体の取組発表及び委員からの意見

(ア) 公益財団法人広島県老人クラブ連合会

シナリオや役柄等を手作りした特殊詐欺被害防止を呼び掛ける寸劇のDVDを作成し、県下の老人クラブや防犯団体に提供し活用している。

(イ) 学生代表（広島修道大学学生）

学生防犯ボランティア「スリーアローズ」では、見守り活動や防犯寸劇、オトモポリスの広報やランニングパトロール等に取り組んでいる。

- (ウ) 学識経験者（大阪経済法科大学教授）  
犯罪の加害者にも被害者にもなる可能性が非常に高まっている。対象になる人の特性に合わせたいろいろな情報提供や取組が重要になる。
- (エ) 広島県PTA連合会会長  
地域活動や町内会活動、自治会などのコミュニティ活動の繋がりが、犯罪から子供たちを守る環境に繋がっていく。

オ 承認事項

令和6年における基本的な取組方向

- (ア) 不安に感じる犯罪の抑止
  - a 防犯カメラの設置促進
  - b 施錠意識向上施策の推進
- (イ) 子供・女性・高齢者等の安全確保
  - a 防犯ボランティア団体の活動の活性化
  - b 県民・事業者による「ながら見守り」の推進
- (ウ) 特殊詐欺被害の抑止
  - a 固定・携帯電話対策の推進
- (エ) インターネット利用犯罪被害の防止
  - a 防犯講習会の開催及び参加促進
  - b 情報発信・最新手口の共有

(3) スケジュール

本会議の議事録は、今月中に県警ホームページにより公表予定

(4) 予算（国庫・単県）

—

4 その他

広島県警察ホームページリンク先（広島県「減らそう犯罪」推進会議）

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/police/041-herasou-kaigi-kaigi.html>